

兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験の結果、小学校で合格者62名増員して発表 教職員不足、教員採用試験合格者3年連続で増員!!

——昨年引き続き教職員未配置解消を求める私たちの運動の成果——

兵庫県教育委員会は9月12日(金)15:00に、令和8年度兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験の結果を発表しました。教職員人事課採用育成班長の説明でも強調された今年の発表の大きな特徴は「教員不足の状況を踏まえ、小学校では、昨年募集数より53人多く合格者を出しましたが、今年は62人多く出したこと」です。このことは、未配置解消を求めて、市町教委への協力を経て実態調査を行ったことや県教委へ要望書を提出するなど私たちのとりくみの大きな成果であることは間違いありません。

「未配置解消を求める署名」は集約途中ですが、5000筆近く集まっています。また、10月1日時点での「未配置実態調査」も各市町教育委員会に依頼する準備を始めています。人事委員会交渉、11月に予定されている対県確定交渉でさらに運動をすすめ、この問題の解消のさらなる前進のためにとりくみを一層強めましょう。

試験結果の特徴(県教委資料抜粋)

1 受験状況

- (1) 全体の受験者は3,806人 倍率は平均3.5倍
- (2) 合格者は1,094人 教員不足の状況を踏まえ、小学校、特別支援学校の合格者を増員した
- (3) 小学校2.6倍 中学校3.5倍 高等学校4.9倍 特別支援学校2.7倍
養護教諭11.0倍 栄養教諭13.8倍
- (4) 中学校では、保健体育14.3倍、社会9.6倍、音楽8.1倍が高い倍率
- (5) 高等学校では、保健体育13.4倍、書道9.0倍が高い倍率
- (6) 中学校の科目別状況(合格者が募集数より少ない教科と多い教科)

	募集数	受験者数	合格者数	倍率	±
理科	40	45	33	1.4	-7
美術	15	24	10	2.4	-5
技術	15	9	6	1.5	-9
家庭	10	12	8	1.5	-2
国語	45	102	49	2.1	+4
社会	20	211	22	9.6	+2



2 合格者の概要

	募集数	受験者数	第2次合格者数	倍率	増員
小学校	445	1310	507	2.6	62
中学校	275	902	258	3.3	▲17
高等学校	210	1006	207	4.9	▲3
特別支援学校	90	245	92	2.7	2
養護教諭	25	274	25	11.0	0
栄養教諭	5	69	5	13.8	0
合計	1050	4036	1094	3.5	44

上の表からもわかるように、小学校62名、特別支援学校2名と合格者を増やしています。これは私たちが運動で、「少なくとも定員未充足については、採用数を増やすなど県教委の責任で対応すべきだ」と言っていた内容にそのまま応えるものです。中学校や高等学校で募集数より合格者が少ないのは、受験者が少ないことが影響しています。

未配置の解消のためには、採用数を増やすことと同時に、未配置の原因である「長時間過密労働の解消」や「処遇の改善」を進めることが重要になってきます。秋の確定交渉ではさらにこの点のとりくみを強めることが重要です。

未配置解消のため、「長時間過密労働の解消・教職員の処遇改善」を大きくすすめよう!